



## 春の大型連休が始まります！



### 感染症予防を心がけましょう

長期休暇には、多くの人国内外を往来し、様々な感染症にかかるリスクが高まります。また、渡航先や帰国後に、日本ではかかりにくい感染症を発症することもあります。今回は、海外で注意しなければならない感染症をいくつか紹介します。

## 海外で注意しなければならない感染

### ① 注意すべき感染症

- ・E型肝炎 ・A型肝炎
- ・赤痢 ・腸チフス ・コレラ

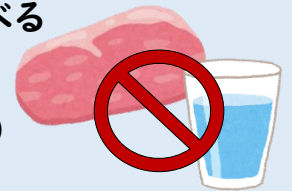
### ② 主な感染源 ・食べ物や水

### ③ 主な発生地域

世界各地(特に水道整備が整っていない地域)

### ④ 予防方法

- ・十分に火が通った食べ物を食べる
- ・生水を飲まない
- ・予防接種(A型肝炎、腸チフス)



### ⑤ 主な症状

- ・発熱、下痢など
- ・体の皮膚や白目が黄色になる(E型、A型肝炎)

### ① 注意すべき感染症

- ・マラリア ・デング熱

### ② 主な感染源 ・蚊

### ③ 主な発生地域

熱帯、亜熱帯地域(アジア、アフリカ、オセアニア、中南米など)

### ④ 予防方法

- ・虫除けローションの使用
- ・長袖、長ズボンの着用
- ・蚊取り線香の使用
- ・夜間外出を控える
- ・予防薬(マラリア)

### ⑤ 主な症状

- ・高熱など



### ① 注意すべき感染症

- ・麻疹(はしか)

### ② 主な感染源 ・人

### ③ 主な発生地域

世界各地(特にアジア、アフリカ、欧州)

### ④ 予防方法

最も有効な予防方法は  
予防接種です。

### ⑤ 主な症状

- ・発熱、咳、鼻水など
- ・発疹 ・目の充血

帰宅後、  
かぜ症状+発疹が  
でたら必ず受診!



日本各地で麻疹(はしか)の発生が報告されています!



## 帰国時・帰宅後に体調が悪くなったら

【帰国時】 空港や港に設置されている検疫所では、渡航者の方を対象に健康相談を行っています。発熱や咳、発疹、下痢などの症状や渡航先での出来事で健康上心配なこと等があれば、検疫官へご相談ください。

【帰宅後】 感染症には、感染してから発症するまでの期間が長いものもあります。帰宅後しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。その場合は、渡航歴や症状などについて事前に医療機関へ相談した上で受診しましょう。

※ 麻しんは、感染してから発症するまでの期間がおよそ10日前後です。

また、感染力が非常に強いため、受診する際は、必ず事前に医療機関へ連絡し、必ずマスクを着用し、公共交通機関を避けてください。



## 医療機関の皆様へ

渡航歴のある方などから有症状の相談があった場合は、診察前に保健所へご連絡ください。

麻しんにおいては、国内感染や感染地域不明の事例が確認されています!



## 感染を広めないために

特に医療・教育関係者は、基礎疾患のある人や高齢者、子どもなど免疫力の低下や重症化が心配されるような方へ感染を拡大させないことが大切です。

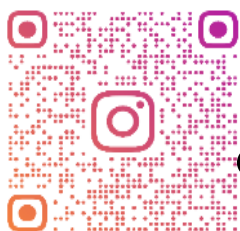
自覚症状がある場合は、無理に出勤せず、医療機関を受診しましょう。

## 海外への渡航を予定している方へ

FORTH



- ・ワクチン接種歴について、ご確認ください。海外渡航に際し推奨されている予防接種で、受けていないものがあれば、医師に相談したり、適切な感染症予防を心がけましょう。
- ・渡航先で流行している感染症や渡航先の情報、渡航前に必要な準備などについて、厚生労働省検疫所のホームページ（FORTH）を確認しましょう。



KENPOKU.KANSEN

感染症に関する記事を投稿しています。

発行日:令和 8年 4月 27日

発行元:福島県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113